

新聞と雑誌

●英國家庭の美點 (高橋順次郎氏)

私の眼に映じた英國の家庭の最も善い所で殊に日本人が大に感心すべき點であらうと思はれるのは、英國上流の家庭(例へば貴族富豪の家庭)から中等以下の家庭へ漸く自分の子供の教育が出来る位で別に餘裕のないといふ家庭に至る迄、外見を飾るとか表面を立派にするとかいふ風な事が少しもなく、縱令外國人が來たにしても、又はドンナ御客があつたにしても、平常自分達の食べて居るだけのものを食べさせ、平常行つて居る儘の事を見せて、少しも恥かしく感ずる様子がないといふ事であり、思ふに之は常識が發達して居るのと、家庭の有様が比較的完全に進んで居るからであります。兎に角日本などの遺口とは餘程趣きの變つた所があり、多くの日本人が普通に遣つて居る様に、貧乏はして居ても人が來れば分際不相應な御馳走をするとか無理算段をしてでも外部を飾り立て、他人に己れの短所を現はさない様にするとい

ふ様な調子で、人をしてその實際よりも善きものに感ぜさせ様といふ風な、常識に外れた點が少しもなく、自分の家の有る儘にして居る是が最も羨むべき所であると思ひます。家庭の友第四卷第六號。

●劣等兒の教育 (樋口長市氏)

劣等兒に最も多き心理上の欠損は、感官及意志にあれば補助學校に於ける教授たる、主として、直視觀察の上に立ち、最も多くの時間を實物繪畫等によりて、直觀し、比較し、觀察し、測量し、又その思考せる所を發表せしむるに費さしむべし。例へば、理科地理歴史を教ふるにも、敢て、組織的に立案するを要せず、寧ろ斷片的に流るゝも、實物模型地球儀地圖繪畫等によりて、見ゆる儘に觀察せしむるを主とすべし、又意志の修練の爲めには、體操郊外運動手工圖畫音樂等に多くの時間を割くを要す云々(教育研究)

●新日本の家族制度 (新渡戸稻造氏)

今日の日本家族組織では、第一に婦人の地位を高めるといふ事が必要である。今日の日本婦人進歩の程度は、丁度今から百二十年ばかり前の英國の女子の狀態と殆んど同

一ではないかと思ふ。今後幾度か改善せられて漸次位置が高まるであらう。一體今日の日本は少年時代で生意氣繁りの時代である。此の境遇中にある今日の婦人に對する救濟法としては、宗教に依る外はない。宗教によつて肉慾の盛發を抑制せねばならぬ

又新夫新婦は、その父母と同居する必要がある。父母は自ら獨立生活し得る財産を取置きて、他の部分を子孫に譲ると云ふ事にせねばならぬ。勿論斯の如き組織にすると結婚の年齢は必ず後れて來る。歐米の如く男子は二十五六歳より三十歳の時に結婚し婦人は二十二三歳から二十七八歳位に爲つて結婚すると云ふやうな事にもなつてあるが、其等の如何に關せず。是非共斯る制度にせねばならぬ事と思ふ。然らざれば日本國民は永久に親は子に依頼して、國家の生産力を減じ、子は親の塵をかぢりて奮勵をしないと云ふ状態になるであらうと思ふ。(成功九卷六號)

●日本の女性 (下田歌子氏)

我が國固有の特色は、極めて、純潔なりしが爲に、其水の如く深く、雪の如く眞白なりし民の徳性には、他邦の其れの如く、仁

と號け、愛と號け、將た慈悲と號るが如き、立派なる名稱の存在だも、必要を認めざりしなるべく、且其他邦より持ち來たせる、各般の教義も文物も、入る儘に、この純白なる民性に染着し、殆ど固有の色の如く成りて、斯色を呈したりと雖も、猶これを縞にすれども黒まざる、氷潔雪白の光澤は、毫も消滅すること無く時に或ひは燦然として、宇宙の間に耀きつゝありしなり。而して、我が國最初より此方、實に未曾有なる皇運發展の機に際し、世界また長足の進歩を以て、文明の潮流堂々として漲る秋、各種の宗教、哲學の如き、精神練磨の器械は、我等が身邊を圍繞して、其選擇を促すに似たり。寔に、眞理の淵源に溯り、玄妙の流域に達すべきの好時機にあらずや。然らばすなはち、古を温れて新らしきを知り、彼れに鑑みて以てこれを定むるは、實に今日の急務なるべきを信ず。希くは、我が親愛なる同胞姉妹の、善く古往今來の女性が、言行の跡を察して、其長を取り短を補ひ、日に益々向上せる、わが國運の進行を内助せられんことを、切に熱望する所なりかし。

●圓滿なる家庭 (高木兼寛氏)

▲法と教へ 家庭の意義をお話し致すと家族の住居する場所と云ふ事と夫れに家族の守るべき法則の附隨してある事を意味して居ると信じます、故に家庭には家族に示すべき法のある事で主人主婦を始めとし兄弟子供婢僕まで此の一貫せる法に従はねばならない、夫れから又家庭には法の立つて居る上に尙教へると云ふ事が必要で之がなければ家庭の圓滿は見られないのです

▲家庭に法の立たぬ爲め 私は醫師の立場から家庭に於ける肉体的と精神的の二つに分けて觀察をするのに現今都會に住んで家庭を作つて居るものや及び物に不自由なく生活して居る家庭の人は實に哀れむべきで不完全なる体格で又必ず夫れが短命に終るのです、人間僅か五十年と云ふが人間は衛生法の宜きを得れば先づ百歳の壽を保つべきもので然るに日本人は統計上平均年齢三十八歳でナカ／＼五十年の齡を保つ事は出来ない、之れを我が同盟國なる英吉利人と比べたら十四ヶ年丈早死するのです同じ人間と生れ乍ら日本人は既に英國人に劣ること十四ヶ年、夫れ故彼等の小兒の体格を比較して見たら何より早く解ります、近年

は日本の小兒も大分体格が大きき手足も伸々して骨格も大くなつて來ましたがまだ々々英國の小兒から見たら劣つて居ます、一生を通じて統計上十四ヶ年の短命であるのは既に小兒の時から之れを明に物して居るではありませんか

女子と洋畫

小林萬吾氏

繪畫を教へて、男子と女子との差はと云へば、第一、女子は大體に眼が届かぬ、第二女子は一本の線でも氣にする、畫面を唯だ奇麗にしたいと苦心する、第三女子に大きな景色を描かせるのは無理である、第四、女子は氣力が強いやうで而も物を科學的に研究する氣力が乏しい、第五、これは男子との比較ではないが、少くも高等女學校卒業した女子でなければ畫に付いての氣持が解らぬ、第六、女子は複雑な畫になると宛ても六つかしい、第七、勿論例外はあるとして今の所日本婦人は先づ其性格に適する優美な小規模の畫を勉強するが適當であらう